チ　ェ　ッ　ク　リ　ス　ト　　様式　2

Ⅰ 基本的なことがら

チ　ェ　ッ　ク　項　目	工　夫　し　た　こ　と　が　ら
Ⅰ―1　みどり豊かでゆとりある良好な住環境	Ⅰ-1　道路から建物までの十分な距離を確保し空間にゆとりをもたせた。
Ⅰ―2　多世代が定住でき、永く住み続けられ心の豊かさにもつながる、まちづくり	Ⅰ-2　隣接地に公園があり、心豊かに生活できるように良質な空間を目指します
Ⅰ―3　ユニバーサルデザイン等の導入	Ⅰ-3　建物内部については出来る限り段差のない空間とした
Ⅰ―4　安心・安全の生活の確保	Ⅰ-4　共用廊下に門扉を設置し、玄関ﾄﾞｱの鍵は可変ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、1 階ｻｯｼはｼｬｯﾀｰ付とし防犯安全に配慮した
Ⅰ―5　都市の熱環境への負荷の低減	Ⅰ-5　断熱性能、省エネ性能については関係法令を遵守し、都市の熱環境への負荷の低減に努めます
Ⅰ―6　地形を活かし、遠景や近景を眺めメリハリのあるまちづくり	Ⅰ-6　道路面からの高低差を考慮し、建物高さ6.895ｍと高くならないように計画し、周辺建物と調和するよう配慮した
Ⅰ―7　魅力ある場所をつくるデザイン	Ⅰ-7　周辺の街並みと調和するように落ち着きのある外観デザインとした
Ⅰ―8　美しく開放された空間づくり	Ⅰ-8　道路から少し控えて駐車場・駐輪場を配置し、建物まで距離をとることにより圧迫感をなくした
Ⅰ―9　地区計画や建築協定などの積極的活用	Ⅰ-9　地域の方々に計画を説明し、出てきた意見に対して前向きに対応したします

チ　ェ　ッ　ク　リ　ス　ト　　様式　3

Ⅱ　技術的なことがら　（計画の作り方と数値目標）

チ　ェ　ッ　ク　項　目	工　夫　し　た　こ　と　が　ら
Ⅱ―1　地形を活かし、魅力ある住宅地景観をつくることやまちなみの連続性への配慮	擁壁Ｈ＝0.98～0.58m・Ｌ＝15.80m 法面Ｈ＝　－　　m・Ｌ＝　－　　㎡ 道路面の高低差は無しにし、公園側は可能な限り擁壁を低くした
Ⅱ―2　高さ、容積率、建ぺい率について	最高高さ　6.895m・容積率　69.10% 建ぺい率　37.40% 隣棟との間隔　　－　　m
Ⅱ―3　近隣の建物の配置状況への配慮	現状地盤面より低く設計GLを設定し、隣地地盤等に影響のないように配慮した。また、出来る限り隣棟間隔を確保し配慮した
Ⅱ―4　周辺から見た都市景観への配慮	道路から建物まで十分な距離をとり、空間にゆとりをもたせ、景観に配慮した
Ⅱ―5　オープンスペースや緑化スペースと歩行者動線	駐車、駐輪場等を道路より少し控えることで、歩行者用空地等も十分に確保した
Ⅱ―6　建物の外壁面の後退の指標	外壁面後退 道路から　6.631m・隣地から　2.265m
Ⅱ―7　有効空地の指標	歩道設置（無・有）Ｗ＝　　m・Ｌ＝　　m 敷地内空地　44.25 %
Ⅱ―8　敷地面積の規模の指標等	計画に対して十分な敷地面積となっております。
Ⅱ―9　防犯性の高い良質な住宅ストック	共用廊下に門扉を設置し、玄関ﾄﾞｱの鍵は可変ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠とし、1階ｻｯｼはｼｬｯﾀｰ付とした
Ⅱ―10 景観デザイン	街並みに調和し、圧迫感のない配置とし周辺の景観に配慮した
Ⅱ―11 まちの庭園化	－
Ⅱ―12 工作物などの作り方	配置図による

＊このチェックリストに書ききれない場合は、別紙に記入し添付してください